

『縁側日和』これまでとこれから(20250311)

震災から14年目の3.11。震災の時にお世話になった滋賀県立大学鶴飼教授及び自ら希望して参加している学生をお迎えし、震災時にお世話になったことへの、心ばかりの恩返し(恩送り)として『縁側日和』が企画した『おかげさまの会』。

この機会に、整備して頂いた『田の浦交流センター』を生かして行っている『縁側日和』の活動の様子をご報告し、感謝の気持ちを表す為に作成したものです(7分42秒)。

。

YouTube address <https://youtu.be/VWpFhwwXNAY>

QR chord



3月11日午後2時46分 黙禱を捧げるみなさん





3月11日早朝、この日の為に刈り取ってきた 滑らないように粉を付けて刻む(生活の知恵) 茎わかめ。



師匠に監督されながら刻む(何かぎこちない!)



圧巻!めかぶ入りうどん



いつしか学生が仕切る!



『デカ!』握りは三回と声を掛けていたが、仕上がりは、質量多め!



完成!
めかぶのに入ったうどんは、スルスル入り、満腹知らず。



副菜づくりに追われる台所



盛りがイイ!学生仕様のボリュームです。





口頭試問?



めかぶ入りうどん、母に食べさせてみたい!



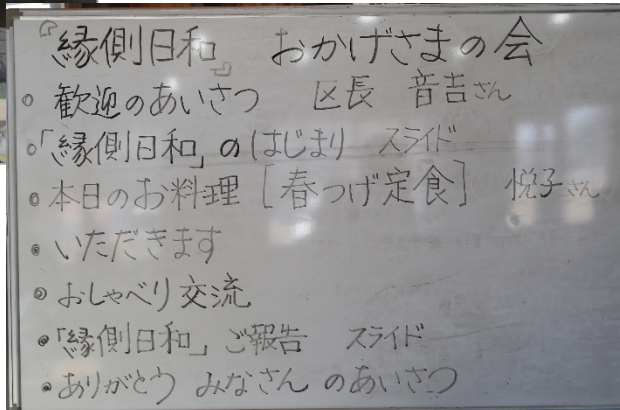
『孫』感が漂う二人



田の浦支援の責任者
感動のスピーチ



『縁側日和』主宰者趣旨説明



撮影:2025/03/11
南三陸町歌津田の浦地区